

高齢者福祉学演習

[演習] 1年・2年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》巻 康弘 [maki@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

高齢者福祉学特論・演習 の学修をもとに、演習形式により文献検索・講読・討論をとおして、高齢者を取り巻く諸課題及び自ら設定する課題について深化させ、発展させる。あわせて、フィールドワークや文献を通じ、自ら設定する課題についての知見及び問題解決についての手掛かりを得る。

【学修目標】

課題研究作成のための研究的視点を持つことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	本科目の位置づけと演習の進め方について説明することができる。	巻
2 5 6	課題研究 結果のまとめ	フィールドで得られたデータ結果をまとめ、分析的視点で検討することができる。	巻
7 8 11	課題研究 結果の検討	結果の考察に関して、全体での討議・検討を加えることができる。	巻
12 13 15	課題研究のまとめ	課題研究を作成し、研究目的に照らして内容の討議・検討を加えることができる。	巻

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーション（30%） 準備参加状況（30%） 課題レポート（40%）を総合的に評価する。

【教科書】

適宜紹介する。

【参考書】

適宜紹介する。

【学修の準備】

論文作成方法等に関する文献を既読しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。